

第19回あま市新型コロナウイルス感染症対策本部会議

(1) 公共施設の利用について

○東京都、愛知県における感染者発生状況について

全国的に第二波ともいわれる状況の中、東京都では7月15日に感染状況について4段階の警戒レベルの中で最も高い状況であるとして、都民に対し、接待を伴う飲食店や対策不十分な店の利用の自粛等の協力要請を行った。自粛の効果から、感染者は、急激な増加をみせておらず、現在は減少に向かいつつある。

愛知県においては、7月中旬から再び感染者が増加し始め、若い世代を中心に飲食店等でクラスターが発生し、家庭内での感染も見受けられるようになった。

7月28日に一日の感染者数が100人以上に急増したことを受け、県は警戒レベルを「警戒領域」から「厳重警戒」に移行し、県民に再度、感染防止対策の徹底等の注意喚起を行った。また、8月6日には「愛知県緊急事態宣言」を発出し、県民に意識的な行動を呼びかけたこともあり、愛知県においても感染者数に減少がみられるようになった。そのため、今後、感染者が急増することは考えにくい。

○あま市における感染者発生状況について

あま市においても、7月以降連続的に感染者が発生し、8月17日時点で45人の感染者が確認されている状況ではあるが、東京都や県の感染が減少傾向に転じていることから、引き続き徹底した感染防止対策を行うことで、今後は減少に向かうのではないかと予測される。市公共施設の段階的な再開については、9月1日にステップ③への移行ができると考える。

